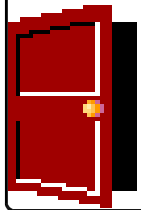


《読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



# 読書活動への扉を開く！

桑村小学校 令和4年5月11日 文責 渡邊

5月9日(月)に6年生と「読書活動を考える」をテーマに授業を行いましたので紹介します。

この授業には、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)委員で読み聞かせでも応援してくださっている鈴木薫さんにゲストティーチャーとして参加していただきました。

始めに、これからの未来社会を映像資料をもとに考えました。

【予想される未来の社会とは？】

- ①情報化社会
- ②A I (人工知能)の活用
- ③グローバルな社会(外国人との交流)
- ④地球規模での環境問題
- ⑤エネルギー問題



【校長による授業】

次に、このような時代を生きる自分たちに必要な力とはどういう力なのかを考えました。

【必要な力とはどういう力でしょうか？】

- ①情報を集め、分析する力
- ②情報をもとに考える力
- ③仲間と意見を交換する力
- ※コミュニケーション能力
- ④自分で判断し、行動する力
- ⑤振り返り、改善する力
- ※リフレクション
- ⑥自分から問いをもち、解決する力



【講話をする鈴木さん】

こうした力を付けるには、「読書活動」が有効である。

【読書活動の効果とは】

- ①読解力が身に付く
- ②相手の気持ちが理解できる。
- ③耐性が身に付く
- ④いろいろな情報を獲得できる
- ⑤語彙が豊かになる
- ⑥想像力が身に付く
- ⑦感受性が豊かになる
- ⑧自分を振り返れる

最後に、授業を終えた6年生の振り返りを紹介します。

◆校長先生との授業は、とても楽しかったです。校長先生と「読書について考えよう」をテーマにクラスの友達と考えました。読書は、ものすごく大切なものだと思います。なぜなら、読解力や想像力が身につくことが分かったからです。私はこれまで読書はきらいではなかったけれど、本をあまり読んでいなかったです。けれども、最近、家族で本屋さんに出かけ、本を買ってもらい読んでいます。祖母にも買ってもらいました。これからもたくさん本を読んで、いろいろなことを身につけていきたいです。

◆ぼくはこれまで多くの本を読んできました。今日、校長先生と読書について考えました。ぼくはこれからも多くの本を読んで、社会生活に生かしていきたいと思いました。なぜなら、今日の学習で、読書には「集中力」や「コミュニケーション力」などをつけることがわかったからです。AIがこれからも発展していく社会では、「考える力」が必要です。このことから、ぼくは今よりもたくさんの本を読むことで「考える力」をつけていきたいと思いました。

◆ぼくは、これまであまり読書をしていませんでした。だから、今まで読書のすごさや魅力を知りませんでした。しかし、今日、校長先生と「読書活動」について授業をやって、「読書ってすごいんだな」とか「読書ってこんなに楽しいんだ」ということに気づくことができました。これからは、自分に合った本を見つけて読んでいきたいです。

◆私はこれまで漫画を読むことが多かったです。私の本が好きという気持ちは、校長先生や鈴木先生と比べて、「弱い」ということが分かりました。だから私もこれからは、いろいろな本を読みたいと思いました。本を読むことは未来につながる大切なことであることも学びました。私は読書は「想像力」がつくだけだと思っていたけれど、いろいろな力が身につくことを知り、読書のすばらしさをあらためて感じました。これからは漫画だけでなく、小説なども読んで、いろいろな力をつけていきたいです。

6年生の子供たちの振り返りを拝見したとき、鈴木さんとともに行った今回の授業で、子供たちに「読書の効果」と「読書の魅力」が伝えられたことを感じることができました。

子供たちは、素直に自分の気持ちを発言するなど、とても楽しく授業を行うことができました。とても素直で真っ直ぐな授業態度に感心させられるとともに嬉しい気持ちが溢れてきました。

桑村小学校応援団の鈴木さんには、お忙しい中、子供たちのためだからと快く引き受けていただき本当にありがとうございました。桑村小学校には、たくさん応援してくださる方々がおられとても幸せに思います。

----- 切 り 取 り 線 -----

「読書活動の扉を開く」(5月11日号)を読んだの感想

( )年( )